



東京農業大学

研究発表

突撃！ボロ市調査隊

～学生が届けるボロ市の歴史再発見～

東京農業大学

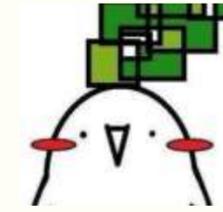
3年	高崎楓禾	嶋隆宏
2年	田子真志	吉澤勇人
	丸山航士郎	
1年	吉本あかり	西田せろり
	横山千隼	橋本一凜
	藤井ちとせ	黒臼真央

活動動機と目的

- 30代以下の若い世代や子供を中心に、家族でボロ市について楽しく学べる機会を提供することで、ボロ市の伝統や歴史への関心を高める
- そのためにアイデアを提案する
⇒ボロ市の歴史に関する展示ブースの設置や、子ども向けスタンプラリー・福引を実施する



活動一覧



東京農業大学

6月24日 まち歩き

7月19日 せたがやホテル祭りとサギ草市

8月 6日 学生交流会

9月14日 世田谷八幡宮例大祭

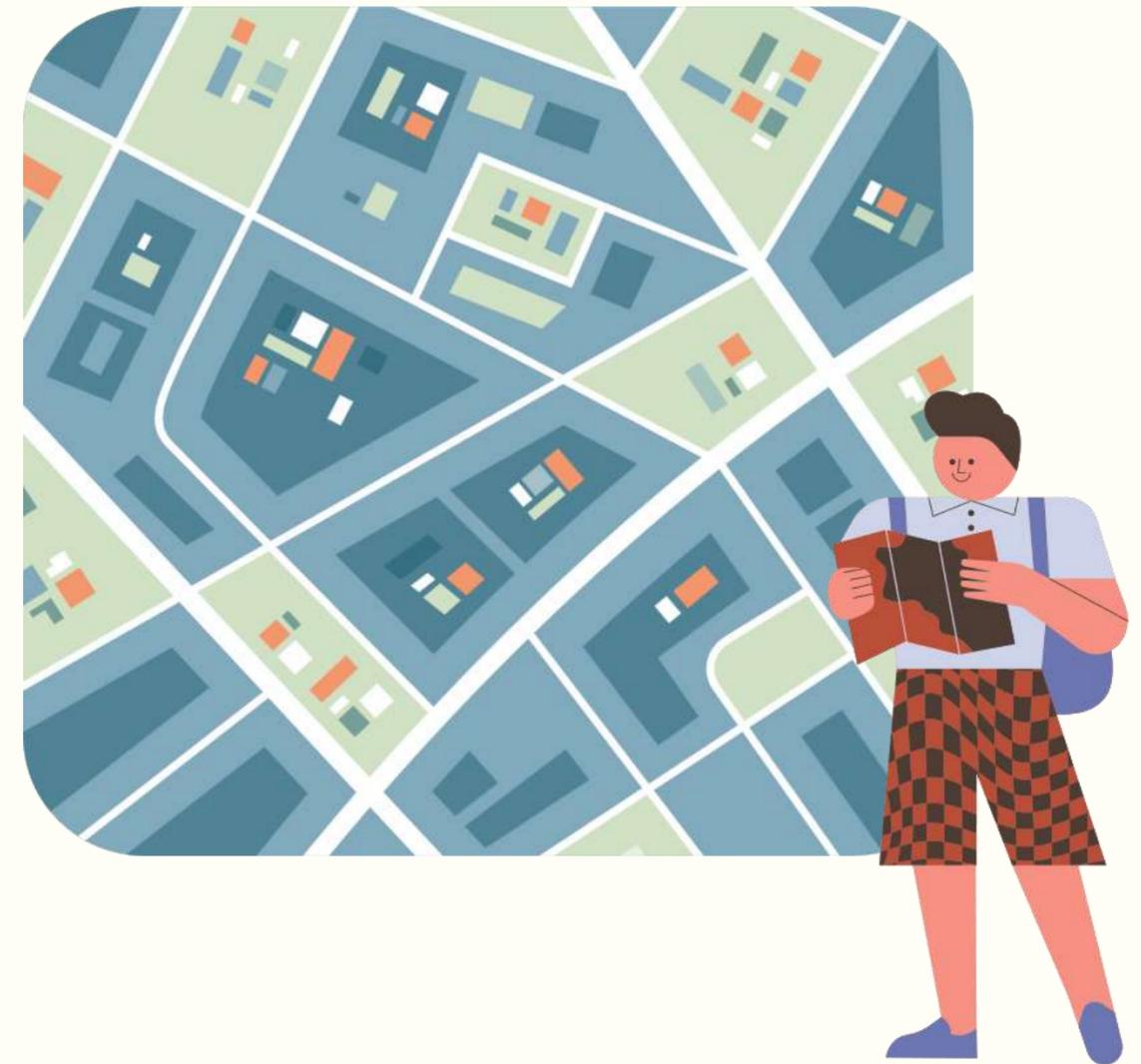
10月10日 ボロ市拡大会議

10月19日 郷土資料館学芸員講座

11月11日、13日 ボロ市出店者 ヒアリング

11月20日 授業でのボロ市の紹介

12月15、16日 世田谷のボロ市



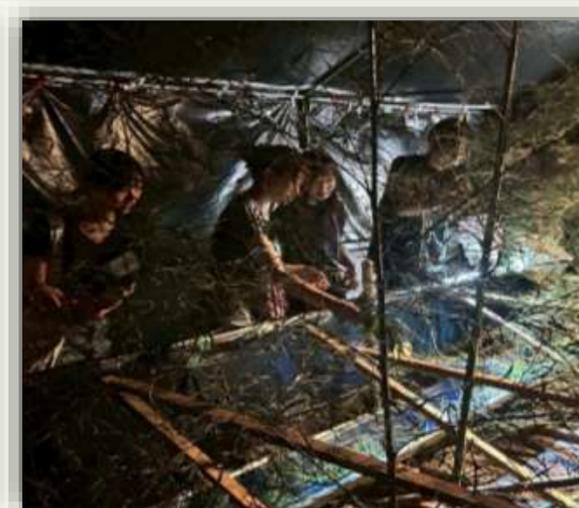
ホタル祭りとサギ草市



東京農業大学

トンネルに放たれたホタルを公開
世田谷区の花であるサギ草の販売

- ホタルを見るためにトンネル前にできた長蛇の列
- 海外含め、老若男女の人々でにぎわう
- 農大や、川場村との関わり



世田谷八幡宮例大祭



御神輿と東京農業大学の
相撲部による奉納相撲が見どころ

- 戦前から続く長い歴史がある
- 子どもからご年配の方、外国の方など様々な方がいた

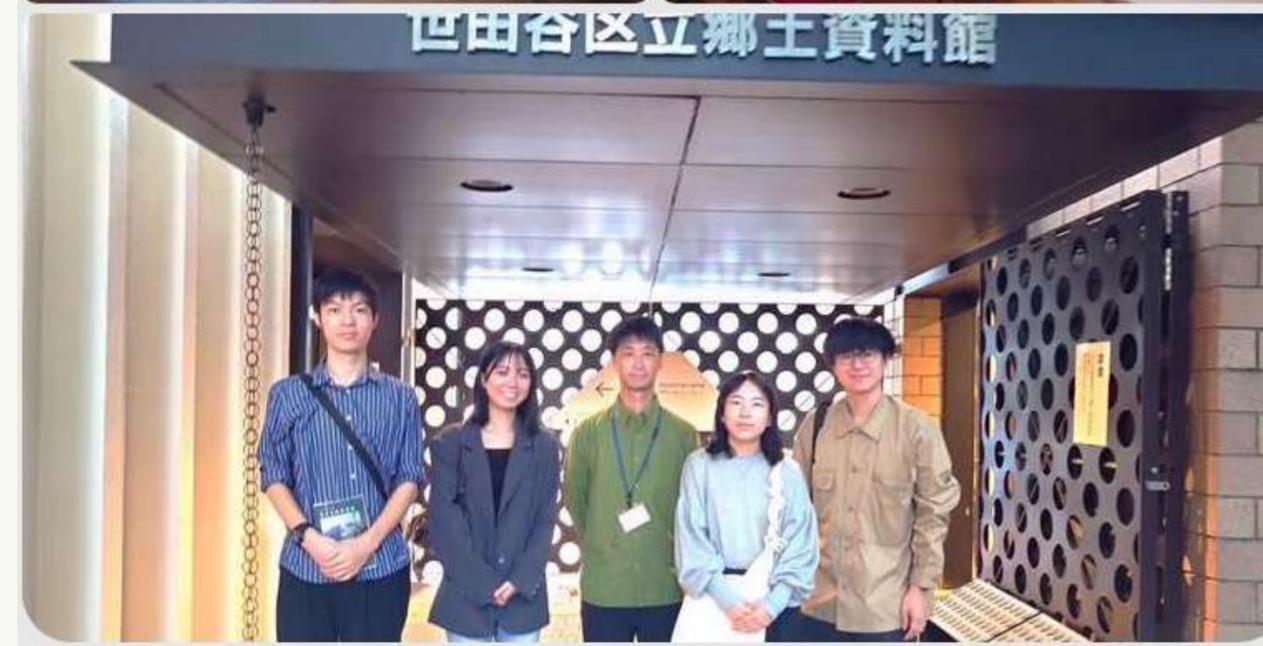


学芸員による歴史講座



東京農業大学

ボロ市の歴史を知るために、世田谷区立郷土資料館の松浦さんのお話を聞いた。世田谷代官屋敷での当時の暮らしや郷土資料館で展示されていたボロ市関係の貴重な資料のいくつかを拝見させていただいた。



● 代官屋敷とボロ市の歴史

ボロ市では5年に1度代官行列が、屋敷を始点として市を見回ります。

● 知らなかったことを知る

ボロ市の時代による移り変わり。取り扱われる商品やその実施形態など。

● ボロ市で私たち学生は何ができるか

ボロ市の文化を次世代に伝えていくため、私たち自身がボロ市に参加して学んでいく。

情報チームと発表チーム



東京農業大学

[チームが分かれた経緯]

- ミーティングを通して、今年は私たちがボロ市について詳しくなりどこかでアウトプットしようと考えていた
- 活動メンバーが11人と昨年よりも多かったため、2つに分けて、手分けしてプロジェクトを進めようと思った

学芸員のお話やいただいた資料を基にボロ市に関する情報をまとめるチーム



情報チームの情報を基に学内での発表を作成しプレゼンするチーム



学内発表



東京農業大学

発表チームによるボロ市についてのプレゼン



- 学生にボロ市について知ってもらおう
- 地域創生科学科



ボロ市の歴史



東京農業大学

時代・・・1578年

誰が・・・北条氏政

目的・・・町の保護振興

かつては栄えていた市。しかし江戸時代に突入後、商業の中心が江戸になり、需要が下がり衰退。現在は12月15,16日、1月15,16に開催。

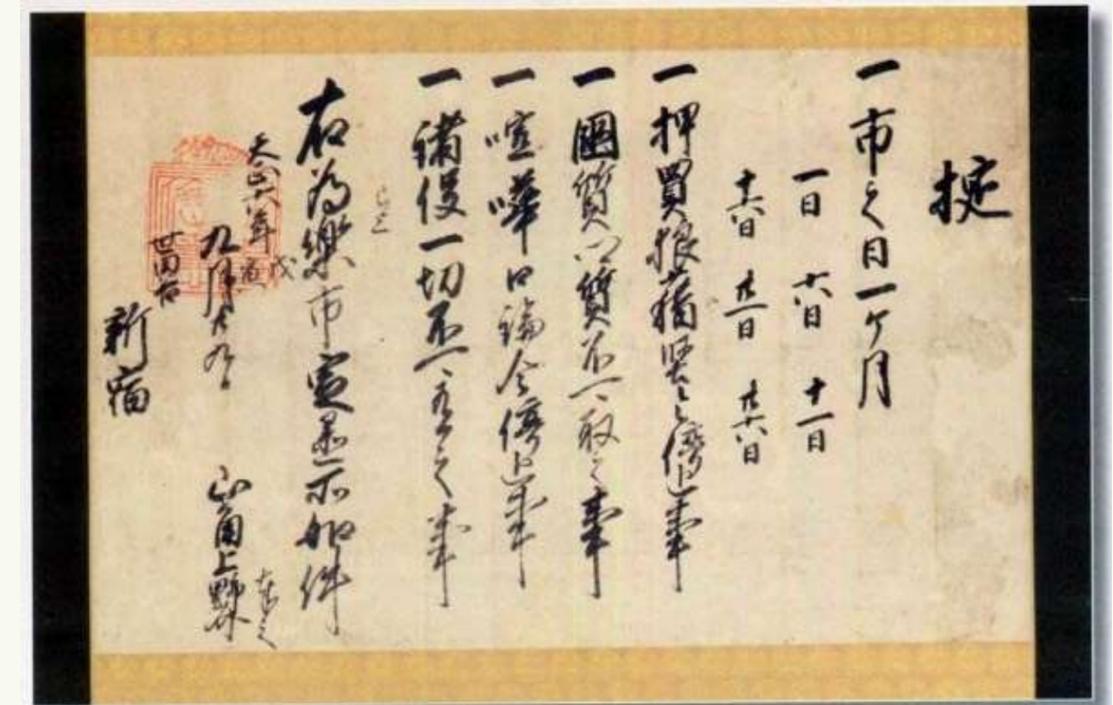
テキ屋の進出により、暴力沙汰事件が発生

↓

地元住民と軋轢が生まれ、中止

↓

世田谷ボロ市推進委員会が結成



楽市掟書



世田谷ボロ市推進委員会

→復活にあたり、ボロ市の近代化が進められた。

- ①地割りは警察が行い、テキ屋に主導権を渡さない
- ②地元商店から優先的に出店させる
- ③警察のパトロール強化
- ④区役所にお手洗いを設置する

地元と警察の連携体制により、暴力団系のテキ屋を廃除し、安心安全な露店市を目指し「世田谷方式」「ボロ市方式」と高く評価された。

ボロ市クイズ



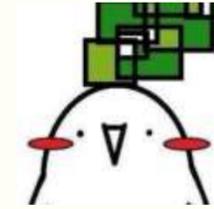
東京農業大学

今まで学んだことを基にクイズを作成
ボロ市でブースをお借りして来場者に向けて出題した

- 景品付きにて集客性、差別化ポイント
- 選択問題形式で3問出題
- 1日目：103人
2日目：190人
- 幅広い年齢層の方に答えてもらった



目的

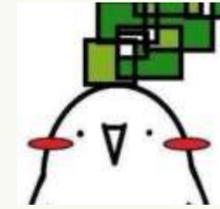


どんなお店があるか、どんな人が出店するのかを知るために出店者説明会の場を借りてヒアリングを行った。

出店者ヒアリング項目

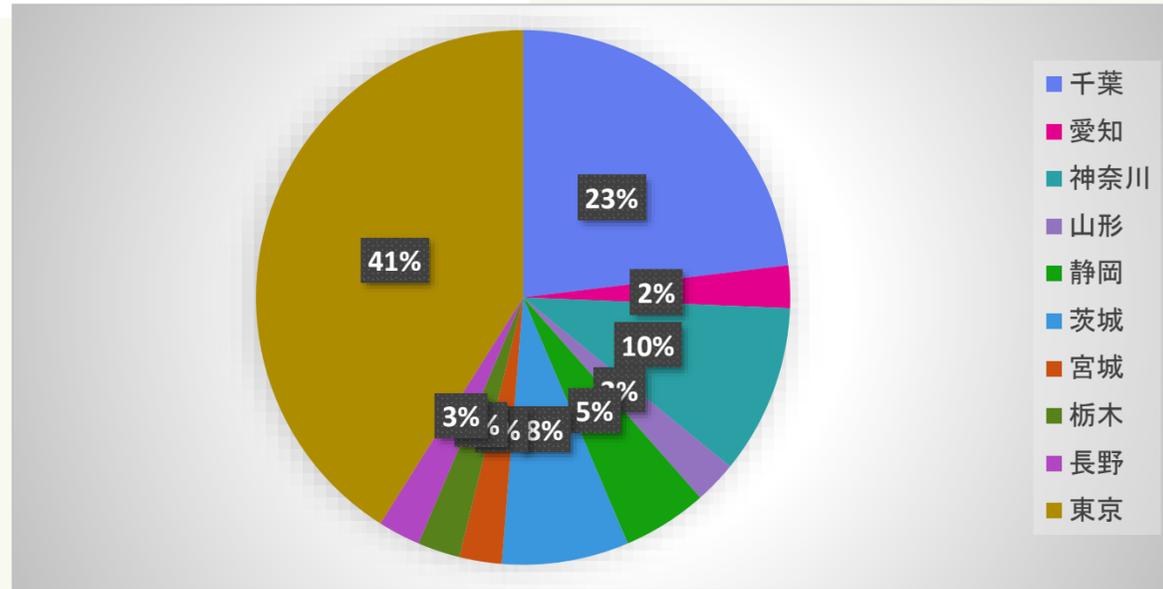
- お住まいの地域
- 参加回数
- 販売物
- 出店のきっかけ

集計結果 (39件の回答)

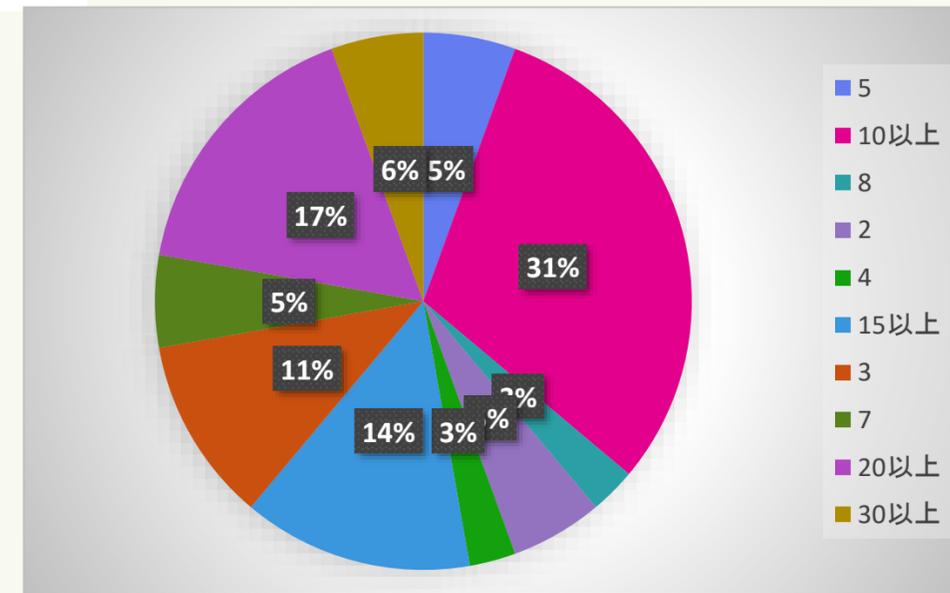


東京農業大学

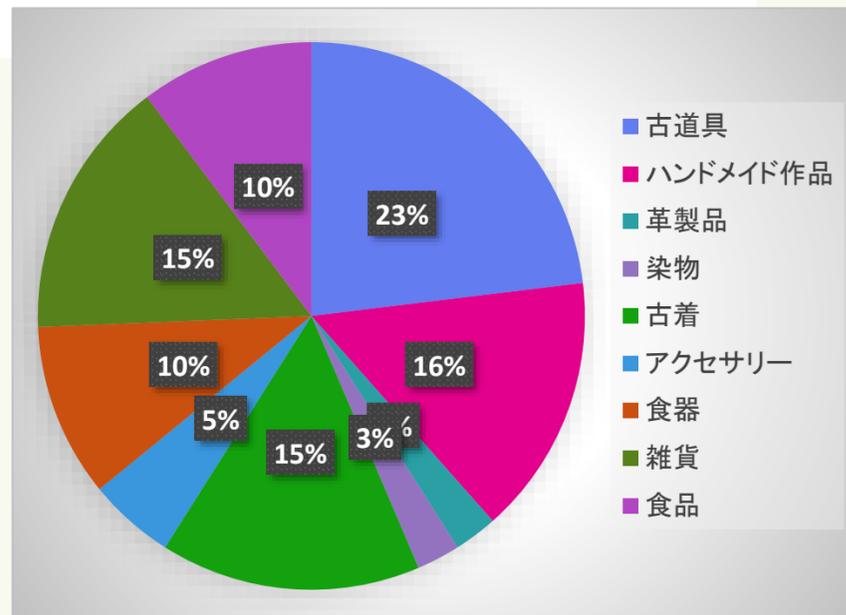
お住まいの地域



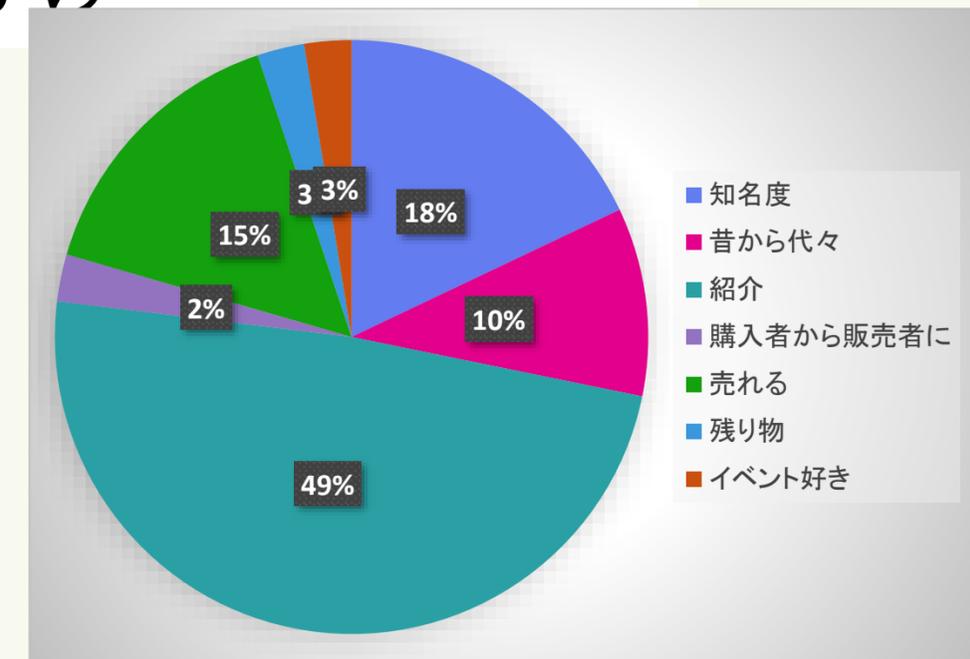
参加回数



販売物

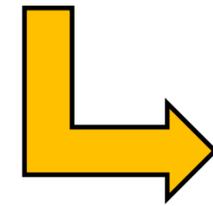


出店のきっかけ



集計からの考察

- ・よくあるお祭りではないような、陶器・ハンドメイド品・着物・盆栽を出展
- ・日本伝統品を扱う人が多い



想定以上の**外国人客**の存在



- ・ボロ市出店者はリピーターが多い
- ・全国各地からの出店



地方文化の集結

課題

- ボロ市の歴史を知っている人は多くない
- 来年度からは農大の知見を活かす
- ボロ市は平日休日問わず開催されるため、どの世代が多く来客されそうか予想しておく。また、学生達のスケジュール管理を適切に行う

提案

- ボロ市の歴史について学ぶ機会を提供する
(講座やボロ市でのイベントブース)
- SNS を用いて情報発信をし、若い世代の方に興味を持ってもらう

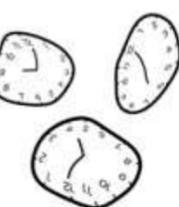


ご清聴ありがとうございました。



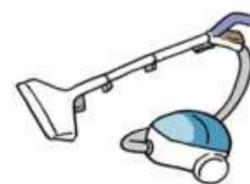
問題 1

ボロ市は始まって何年になるでしょうか



- ①約120年
- ②約350年
- ③約440年

問題2



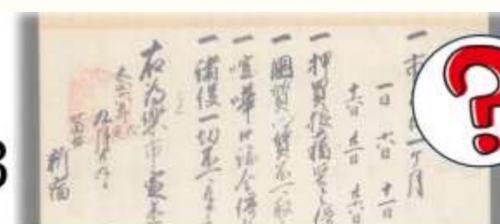
ボロ市は時代とともに売り物も移り変わっていました。大正・昭和初期には何が主流となっていたでしょうか。



- ①電化製品
- ② 植木
- ③ 古本



問題3



ボロ市を始めるときに決まりごとを書きしるした文書を何というでしょうか。

- ① 楽市掟所
- ②市のきまり書
- ③ 売買許可状